

JAバンク栃木の地域密着型金融の取組みについて

平成 22 年 4 月

JAバンク栃木

JAバンク栃木（栃木県下JAと農林中央金庫宇都宮支店）では、農業と地域社会に貢献するため、JAバンク栃木中期戦略（平成22～24年度）に基づき地域密着型金融の推進に取り組んでいます。

最近の地域密着型金融の取組事例について取りまとめましたので、以下のとおりご報告いたします。

農林中央金庫 宇都宮支店

JAバンク栃木 「担い手金融リーダー会議の開催」・・・ P 3

JAバンク栃木 「農業経営管理支援事業の取組み」・・・ P 4

タイトル 担い手金融リーダー会議の開催
JAバンク栃木

1 目的	本県では、認定農業者や集落営農組織などをはじめとする担い手の育成、確保、また、農家組合員の多様な資金需要に対応し地域農業の活性化を図ることを目的に、担い手金融リーダー会議を平成17年度より毎年度開催しています。
2 概要	本県では県内全JAにおける本支店の（農業）融資担当者を、担い手金融リーダーとして登録しています（平成22年1月末現在：72名）。当該担い手金融リーダーに参集してもらい、農業情勢等の報告や農政の説明による情報の共有化、制度資金を初めとする農業資金の概要説明による農業者への資金対応強化、系統の利子助成措置等諸施策の説明による農家支援の取組み対応などを行っています。 また、営農・経済渉外担当者等も参加対象に加え、担い手金融リーダーとディスカッションを行うなど、JA内連携強化に資する取組みも取入れることで、担い手対応の一層の取組み強化を図っています。（平成22年3月開催時のJA担当者の参加者は78名）
3 成果	参加者からは、「担い手に対する相談などに役に立った。」、「農業資金についての知識が増えたことから、農業者に対するニーズに適切に応えられた。」との声が寄せられており、JA地域農業発展の一助になっています。
4 今後の取組み	今後についても本取組みを継続し、担い手育成の強化、地域農業の活性化を図っていきます。

< 会議風景 >



タイトル 農業経営管理支援事業の取組み
JAグループ栃木

1 目的	地域農業を支える多様な担い手の経営安定をはかるため、行政など関係機関と連携し、中央会・全農・農林中央金庫・全共連等をメンバーとする農業経営管理支援指導班を平成22年1月に設置し、JA取引のある個別経営不振農家に対し経営相談・コンサルを実施することとしたものです。
2 概要	経営相談・コンサルの実施による、データ、ノウハウの蓄積（特に記帳代行）を図ります ・経営分析及び経営改善計画の策定を実施します。 農家経営分析手法の開発・研究に取組みます。 ・集積データに基づく、分析・診断手法に関する検討を行います。 JAの自立的取組みのための体制整備支援に取組みます。 ・経営層へのセミナー開催等の啓蒙活動や担当者向け検討会等を開催します。 * 関係機関毎に役割を分担し、農林中央金庫においては、主に財務・資金管理面について分析・改善計画を策定します。
3 成果	現在、事例にもとづく経営分析を実施中です。
4 今後の取組み	現在、第一回募集案件について取組中ですが、今後は、更に案件数を増加させて本取組みの充実・強化を図り、JAグループ栃木として、県内農家に対する経営コンサル機能の強化を図っていきます。

